

保育園に太陽光発電を設置

未来ある子どもたちのために 地球環境を守り続けたい



古川くりの木保育園 園長 鶴谷 美奈



みやぎ地域・市民電力連絡会、古川くりの木保育園
福祉会、共同代表3名と鶴谷園長、大内事務局長

このたび、みやぎ地域・市民電力連絡会から古川くりの木保育園に、太陽光発電設備を設置していただきました。2022年9月13日に運転を開始し、9月16日、開始セレモニーを行いました。

今回の設置は、(株)エコスタイル(本社・大阪)が実施する東北地方の復興支援と共に再生可能エネルギー普及活動の一環として、太陽光発電を無償設置する取り組み

「東北復興応援プロジェクト」の補助金を活用しました。

取り付けた設備は、発電能力7・7kwの自家消費型で、2階建て園舎の屋上に太陽光パネル21基、発電量などを確認できるモニターは玄関に設置予定で、園児・保護者・職員が、いつでもどこからい発電しているか見られるようになります。

このプロジェクトの条件には、「設置を導入した翌年度から5年間環境教育を行うこと」が定められています。今後、園児や保護者を対象にみやぎ地域・市民電力連絡会の方々と共に、地球環境問題に関する環境教育を実施していきます。環境教育では、子どもたちにエネルギーがどう作られているのかを体験できるよう、実

際に見て・触れ・感じ・興味を持ち知る経験ができれば良いと思っています。

ここ数年、地球温暖化により今までにないレベルの猛暑や、大雨などの異常気象が増えているのを実感しています。太陽光発電の導入により二酸化炭素の排出量を減らし、クリーンでエコな再生可能エネルギーの普及が、今後一層進むことを望みます。

今回の設置をきっかけに、職員も一緒に環境問題を学び、未来ある子どもたちが豊かに暮らせるよう、地球環境を守り続けていきたいと思っています。

みやぎ地域・市民電力連絡会や、エコスタイルの皆さんのおかげで設置ができたことを深く感謝します。関わっていただいたみなさんの願いと想いを大切に、大事に使っていききたいと思います。

きらきら8号機(若林区荒井)開所式行う



きらきら発電市民共同発電所ニュース

2022年12月号 第96号

〒981-3215 仙台市泉区北中山3丁目17-12

電話 070(2010)3777

HP kirakirahatuden.com/

Eメール hirohata3777@outlook.jp



泉10号機(2024年設置)の募金開始！

泉病院新病院屋上に2024年30kw太陽光発電を設置

NPO きらきら発電は11月理事会で正式に「2024年泉病院新病院屋上に太陽光発電10号機を設置すること」を決定しました。発電規模は30kW程度(費用1千万円)を見込んでいます。寄付金目標は5百万円。目標達成の期限は、業者に発注する時期を考え、来年12月としています。

NPO きらきら発電は地球温暖化ストップ(気候危機回避)をめざし、毎年太陽光発電所を設置してきました。家庭用太陽光以外のFIT制度(固定価格買取制度)がなくなった2021年より、一般家庭の屋根を借りて太陽光を設置する「屋根借り方式」で太陽光発電を増やしてきましたが、電気代の高騰(現在1年半前の6割アップ、来年4月以降は2倍まで上昇する見込み)を見越し、「自家消費型太陽光発電」を病院などに設置し、電気代の高騰に悩む病院等を支援したいと考えていました。そんな時泉病院より2024年に新築するとのお声をかけていただきました。

5) 16版 みやぎ (第三郵便物認可)

地域と共存めざす市

民電力 東北放送が

きらきらを取材・放映

10/18のNスタみやぎで放映。



村井知事(右から3人目)と要望書を手にする曽根代表ら4人

風力7計画反対

県北内陸部 市民団体 署名1588人分県に提出

大崎市鳴子温泉など県北の内陸部で進む7件の大規模風力発電計画を巡り、同市の市民団体「鳴子温泉郷のくらしとこれからを考える会」などは17日、住民の合意形成を軽視して計画を進めているとして、事業者を厳しく指導するよう村井

要望書は10団体の連名。7件の計画について「事業計画の説明も不十分。不誠実さが目立つ」と指摘し、反対する計1588人分の署名を添えた。

同日鳴子温泉の東北六角牧場で持ち上がった大型風力発電建設計画で、市民

と渡り鳥の共同調査を求めた知事意見に事業者が応じておらず、伊藤康志市長も「現行の事業計画は容認できるものではない」と市議会で表明した経緯を踏まえて提出した。

計画地周辺の渡り鳥を調査した日本雁を保護する会(栗原市)などはシミュ

